

## 令和元年8月臨時教育委員会会議録

1. 日 時 令和元年8月16日（金）午後2時
2. 場 所 泉佐野市役所5階 第一会議室
3. 出席委員
- |          |         |
|----------|---------|
| 教育長      | 奥 真弥    |
| 教育長職務代理者 | 北浦 秀樹   |
| 委 員      | 南 一早枝   |
| 委 員      | 畑谷 扶美   |
| 委 員      | 山下 潤一郎  |
| 委 員      | 中村 スザンナ |
| 委 員      | 赤坂 敏明   |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- 泉佐野市立学校教科用図書選定審議会
- |     |        |
|-----|--------|
| 会 長 | 森 基    |
| 委 員 | 前原 義高  |
| 委 員 | 松良 秀治  |
| 委 員 | 古谷 秋雄  |
| 委 員 | 山岡 史賢  |
| 委 員 | 中村 絵里  |
| 委 員 | 飯田 恵子  |
| 委 員 | 明渡 賢二  |
| 委 員 | 杉村 祐紀代 |
- 
- |                   |        |
|-------------------|--------|
| 教育部長              | 溝口 治   |
| 学校教育課長            | 木ノ元 直子 |
| 学校教育課学校指導担当参事     | 和田 哲弥  |
| 学校教育課指導主事         | 渡辺 健吾  |
| 教育総務課長            | 川崎 弘二  |
| (庶務係) 教育総務課長代理兼係長 | 田倉 元   |
5. 本日の署名委員 委 員
- |  |       |
|--|-------|
|  | 畑谷 扶美 |
|--|-------|

## 議事日程

議案第 17 号 令和 2 年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定について（学校教育課）

※以下、「中村委員」…中村スザナ教育委員、「中村絵里委員」…中村絵里泉佐野市立学校教科用図書選定審議会委員

（午後 2：00 開会）

### 奥教育長

ただ今から令和元年 8 月の臨時定例教育委員会議を開催します。

本日は 25 名の方から傍聴の申込みがありました。傍聴を許可したいと思います、いかがでしょうか。

（各委員 「異議なし」の発言あり）

それでは傍聴を許可いたします。

〔傍聴者入室〕

本日は委員全員が出席をされていますので、会議が成立しております。

本日の会議録署名委員は畑谷委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

議案第 17 号「令和 2 年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定について」を議題といたします。

本日は、令和元年 5 月 27 日に、泉佐野市立学校教科用図書選定審議会に諮問いたしました結果、「令和 2 年度使用泉佐野市立小学校教科用図書」に関する答申をいただき、「令和 2 年度使用泉佐野市立小学校教科用図書」を決定することとなっております。

教育委員会といたしましては、審議会及び調査員が教科用図書の調査研究に多大な時間をかけていただいたこと、また、審議会において十分ご審議いただいたことに、感謝の意を表します。

それでは、審議の結果につきまして、森会長より答申をいただきたいと思ひます。森会長よろしくお願ひいたします。

### 森会長

審議会の森でございます。

令和元年 5 月 27 日、教育委員会より諮問されました「令和 2 年度使用泉佐野市立小学校教科用図書選定」に関する調査、審議の結果について答申いたします。

〔森会長、答申書をもって前に進み、教育長に手渡す〕

奥教育長

本当にありがとうございました。

では、森会長の方から審議の結果につきまして説明をよろしく願いいたします。

森会長

お手元の答申をご覧ください。

なお、先日の定例教育委員会議でご了承いただきましたように、今回の答申については、審議会  
で種目ごとに2者ないし3者を選び、審議会としての推薦順位をつけたものでございます。その推  
薦順位には総合評価を具体的に記しておりますので、ご参照いただければと存じます。

また、推薦順位上位3者以外の発行者については、その後、発行者番号順に総合評価を記して  
いますことを申し添えます。

それでは、種目ごとにご報告させていただきますが、今回、どの種目の教科書も学習指導要領に  
則り、各教科の目標や指導事項など、児童の興味や関心を喚起させ、学習意欲を高めながら、いか  
にわかりやすく理解させるかということについて、独自の創意工夫が随所に盛り込まれており、明  
確に差別化を図ることが非常に難しい種目もありました。併せまして、それぞれの種目について調  
査員から報告を受け、各学校や市教研からの調査報告も加味し、審議を進めました。

それでは、種目ごとにご説明いたします。

#### 【国語】

まず、「国語」ですが、国語は発行者が4者でございます。

国語では、児童が「日常生活に必要な基礎的な国語の能力を身に付ける」ことができるよう、「知  
識、技能」「思考力、判断力、表現力」などに関し、学習の系統性や内容のバランスなどを重視しま  
した。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位光村図書出版株式会社、2位東京書籍株式会社、3  
位教育出版株式会社」でございます。

#### 【書写】

次に、「書写」ですが、書写は発行者が5者でございます。

書写では、児童の発達段階に応じた適切な題材が取り上げられているか、興味を持って取り組む  
ことができるようになっているかという観点で調査を行いました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位東京書籍株式会社、2位学校図書株式会社、3位日  
本文教出版株式会社」でございます。

#### 【社会】

次に、「社会」ですが、社会は発行者が3者でございます。

社会では、学習過程やキーワード・重要語句等が明確に示され、児童にとってわかりやすいものであるか、また、資料等が見やすく分量等も適切かなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位日本文教出版株式会社、2位教育出版株式会社、3位東京書籍株式会社」でございます。

#### 【地図】

次に、「地図」ですが、地図は発行者が2者でございます。

地図では、写真を含めた情報量の豊富さ、また、地図の色彩等が明瞭で児童が読み取りやすく親しみやすいものであるかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位株式会社帝国書院、2位東京書籍株式会社」でございます。

#### 【算数】

次に、「算数」ですが、算数は発行者が6者でございます。

算数では、内容の難易度は適切で問題解決的な学習内容であるか、また、児童の思考過程が振り返りやすい構成や授業の流れになっているか、一つの問題でいろいろな解き方を示すなど多角的に考える力を養う工夫がされているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位東京書籍株式会社、2位日本文教出版株式会社、3位学校図書株式会社」でございます。

#### 【理科】

次に、「理科」ですが、理科は発行者が6者ございますが、一般社団法人信州教育出版社からは見本本が届いておりませんので5者から選びました。

理科では、日常生活との関連の中で児童が興味・関心をもって意欲的に学習に取り組める仕掛けがあるか、見通しをもって観察や実験を行う工夫などが適切に盛り込まれているか、また、問題解決的な力を高めるような工夫や配慮がなされているかなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位株式会社新興出版社啓林館、2位大日本図書株式会社、3位東京書籍株式会社」でございます。

#### 【生活】

次に、「生活」ですが、生活は発行者が8者ございますが、一般社団法人信州教育出版社からは見本本が届いておりませんので7者から選びました。

生活では、対象が1・2年の低学年ということもあり、文字や写真の大きさや明瞭さ・イラストなどの色合いとともに、児童にとって紙面が見やすく、わかりやすいものであるかなどに重きを置きました。

また、3年から始まる理科・社会の学習への接続についても重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位東京書籍株式会社、2位学校図書株式会社、3位株式会社新興出版社啓林館」でございます。

続いて、「音楽」「図画工作」「家庭」についてですが、これらは各2者ずつでございます。

#### 【音楽】

まず、「音楽」ですが、音楽では、拍子や調などについてできるだけ幅広い音楽を取り上げるとともに、教材が豊富で児童の状況に合わせた学習ができること。また、取り扱われている楽曲も日本の伝統的な楽曲を含め、地域的なバランスがとれていることなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位株式会社教育芸術社、2位教育出版株式会社」でございます。

#### 【図画工作】

次に、「図画工作」ですが、図画工作では、児童にとって見ただけで「やってみたい」という興味や関心がわくような内容になっているかということ、教師にとっても「指導する楽しみ」が膨らむとともに、意欲がわく新しいアイデアや工夫がたくさん盛り込まれていること、また、製作に際して児童の身近にある手に入りやすい材料で考えられていることなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位日本文教出版株式会社、2位開隆堂出版株式会社」でございます。

#### 【家庭】

次に、「家庭」ですが、家庭では、学年・季節に応じた教材の配列や単元構成の細かさなど、児童がより学習しやすく工夫されているか、また基礎的・基本的事項などについての説明がより丁寧になされているかを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位開隆堂出版株式会社、2位東京書籍株式会社」でございます。

#### 【保健体育】

次に、「保健」ですが、保健は発行者が5者でございます。

保健では、「健康・安全」について児童が実践的に理解できる学習活動が取り入れられていること、また、それが問題解決的な学習を促すものであり、さらに発展的な学習に広げられるものであることなどを重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位株式会社光文書院、2位東京書籍株式会社、3位株式会社学研教育みらい」でございます。

#### 【英語】

次に、「英語」ですが、英語は発行者が7者でございます。

英語では、次年度から新たに始まる教科として、教材の難易度や分量が児童の意欲を維持・向上させるのに適当であるか。レイアウト・構成等が分かりやすくなっているか等を重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位教育出版株式会社、2位株式会社三省堂、3位東京書籍株式会社」ということになりました。

#### 【道徳】

最後に、「道徳」ですが、道徳は発行者が8者でございます。

道徳では、児童が興味関心をもって取り組める教材であるか、「考え、議論する」授業展開につなげることができる内容か、目標や内容の取り扱いは適切か等を重視しました。

その結果、審議会としての推薦順位は、「1位東京書籍株式会社、2位光村図書出版株式会社、3位株式会社学研教育みらい」ということになりました。

簡単ですが、報告は以上でございます。

#### 奥教育長

ありがとうございました。

それぞれの教科書につきまして、森会長より、審議の観点、推薦順位をいただきました。

それでは委員の皆さんには、目を通して推薦順位の確認していただきたいと思います。少し時間をとります。

それでは、委員の皆さんより答申について、1つ1つの種目ごとに質問や意見をいただいたなかで、最終的に採決をとって次の種目へ移るという形で進めていきたいと思っています。

まずは、「国語」についていかがですか。挙手の上、お願いします。

#### 赤坂委員

学習指導要領において、国語はすべての学習の基盤として育まれ活用される資質・能力として言語活動を重要としていますが、各出版社ではどのように取り上げられていますか。

#### 前原委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の前原よりご説明いたします。

今回も前回と同様「言語活動の充実」には各社とも配慮工夫がされております。「言語活動の充実」のために、各出版社ともに共通した考え方が見られます。

1つ目は「学習」、例えば物語の導入で、教材単元全体の見通しを子どもたちが持てることで、意欲的、主体的に学習に向かえるような工夫をしています。一例を申し上げますと、各社が採用している5年生の物語文で「大造じいさんとガン」がございます。1位に推薦している光村図書では「大造じいさんとガン」の学習全体のめあてを「すぐれた表現に気づかせながら最終的には物語の魅力をもとめよう」と設定しております。この学習の最後には自分がこの作品の魅力だと思ったところとその理由をまとめて、その部分を朗読しお互い友達同士で伝えあうといった言語活動を設定しております。2位に推薦させていただいた東京書籍では、同じ「大造じいさんとガン」で強く印象に

残った場面を朗読して表現しよう。こういうめあてを最初に示して、学習の最後には一番印象に残ったところであるとか、その部分の感想、朗読する時の自分の読み方の工夫、そういったところを考え練習してから朗読発表会を開くという言語活動を設定しております。例として2者上げさせていただきましたが、多少の違いは各者ともございますが、そこには各者のめあてや見通し、子どもに興味を持たすための工夫の違いがございます。

また2つ目としましては、今はスタートからゴールまでの単元の目標を申し上げましたが、間の活動として各社とも活動例を示すなどの支援をして、子どもたちの意欲を持続させる、またその活動の中には言語活動の「話す・聞く・読む」、読むという事は文章を声に出して読むという事もあれば、声に出さずに黙読する事もあります。また読解を含めて読む、また書く、そういった活動をバランスよく取り入れて、間の活動にも意欲を持続させながら、「話す・聞く・読む・書く」それぞれの活動の力をつける工夫もしております。

また最後に3つ目としましては、どの出版社とも振り返りといひまして、自分が学習してきたことを振り返らせて、自分がこの学習でどんなことを学べたか、次にどんなことを生かしたいかということを考えさせて学習の定着、今後に生かす設定をしております。

今挙げた2者以外のどの出版社さんにおかれましても、めあての設定の仕方や途中の活動を支援する、意欲をつけるための個々の活動例は出版社によって個性がありますが、どの出版社におきましても言語活動の充実という事と、主体的、対应的で深い学びの授業とは車の両輪のように考えて教科書を編集しているということでございます。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

『スイミー』を1年で取り扱う教科書と2年で取り扱う教科書がありますが、「主体的・対話的で深い学び」を進めるうえで、内容をそれぞれどのように取り扱えばよいのでしょうか。学年により展開がどのように変わってくるのかについても教えてください。

前原委員

『スイミー』については、東京書籍は1年生の2月に、光村図書では2年生の6月に学習します。東京書籍と光村図書を比較しますと1年生と2年生という違い、時間的な経過では4カ月の違いがございます。学習する学年が違うということは、発達段階も違います。同じ教材であっても当然、発達段階に合わせて子どもたちにつけたい力が変わってきます。めあても違ってきます。そしてめあてが違いますとそれに伴って、どういう言語活動をさせるかという学習活動も違ってきます。

東京書籍では1年生の2月に学習しますので、単元全体のめあては1年生の発達段階や学習指導要領に示された目標、または子どもたちにつけたい力を考えられて、「好きなところを見つけて声に出して読もう」と設定しております。好きなところを見つけてということですので、ある部分ということですね。声に出して読むというのは小学生低学年の国語の授業でとても大事な事で、声に出

して読むことを好きにさせる、楽しめるといふ指導が重要になってきます。東京書籍ではその1年生の特質を見据えて、1年生にこの教材をもってきているのだなと考えております。

光村図書では2年生の6月に学習します。こちらと同じく単元全体のめあてというのは2年生の発達段階に合わせて設定されております。お話を読んで家の人に『スイミー』という物語を紹介しようというめあてを設定されております。2年生ですので、先程の1年生とは違って、全体のあらすじをつかまないと家の人に説明できないということで、2年生の発達段階に見合っためあてを設定しているということです。

ただ、1年生にしても2年生にしても発達段階とつけたい力を考慮した上でも、意欲をもって主体的に学習出来るようにめあてを設定しておられるということで、1年生と2年生という違いはありますが、低学年というくくりで考えますと子どもたちが一読しただけで好きになるような物語を各者とも揃えていますので、自然と主体的に活動できる部分はあります。

あと対話的ということに関しましては1年生の段階では教師と子どもが一对一で、先生が発問しましたら子どもが自分の意見を答える段階ですが、2年生になると友達の考えと自分の考えを比べられるような力もつけていく、対話的な学習の基礎をつくる段階であると思います。

それに見合った『スイミー』という同じ教材でも、各者ともめあてを考えて工夫して言語活動また主体的で対話的で深い学びにあったような学習計画を立てて編集されていると考えます。

奥教育長

ありがとうございました。

「国語」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「国語」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「光村図書出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（国語）」は、「光村図書出版」を採択することに決定いたしました。

次に、「書写」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

赤坂委員

現在使用しているのは日本文教出版の教科書ですが、今回は東京書籍を優先されています。文教出版の教科書の中に何か問題点があったのか、それとも東京書籍の内容が上回っているのか、推薦する理由を教えてください。

杉村委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の杉村よりご説明いたします。

現在、使用している日本文教出版は、「言葉の力が育まれる教科書」をめざし、基礎基本の定着、児童が自ら考えて書く力を高める、また、学びを日常に生かす力の育成することを基本に編集されています。ただ、課題として、3年生以降の説明とお手本のページが多く掲載され教科書への書き込み量が少ない点や、毛筆で学んだ内容を硬筆へ生かす機会の設定が十分ではない点があげられます。

東京書籍は、知識と技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を育み、学びに向かう力を養うことをめざして編集されています。お手本のページの横に「書写のかぎ」が掲載されており、どこに気をつけて書けばよいか分かりやすく示していたり、個人内だけの評価ではなく他者と話しながら振り返ることができる内容となっています。また、1年から水書シートが付属されていることにより、硬筆で適切に運筆する習慣の定着につながるとともに、3年から始まる毛筆を使用する書写の指導への移行を円滑にすることにもつながっていくと考えられます。

以上のようなことから総合的に判断し、東京書籍は教科書全体のバランスがよく取られていると判断いたします。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

国語の鉛筆、家庭のハサミと共通しますが、書写に関して、左利きの子どもへの配慮はどのようになっているのでしょうか、教えてください。

杉村委員

続けて杉村よりご説明いたします。

まず、硬筆に関しては、1年の「かきやすいもちかた」のページにおいて、右手を使って文字を書く見本と並列して、左手を使って文字を書く見本が写真つきで配置されているのは、東京書籍です。また、東京書籍はお手本を、書き込み枠より上部に配置することにより、利き手に関わらずお手本を見ながら書くことができる配慮が見られます。

次に、毛筆については、使用が始まる3年の「毛筆の学習を始めよう」のページにおいて、左手で書く場合の用具の配置について写真つきで示されているのも東京書籍のみです。

以上の観点からも、推薦する東京書籍は、児童の利き手に関わらず、書写の学習活動ができる配慮が見られます。

奥教育長

ありがとうございました。

「書写」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「書写」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（書写）」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

次に、「社会」に移ります。質問等がございますか。挙手の上、お願いします。

北浦委員

優先順位として日本文教出版の次に教育出版となっていますが、日本文教出版を推薦する理由はどのような点ですか。

明渡委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の明渡よりご説明いたします。

どちらの会社の教科書も、それぞれ児童が興味を持って主体的に学習に取り組めるよう、よく考えられています。両者とも人権の取り扱いや単元の組織・配列なども細かな点まで配慮がうかがえます。

教育出版の特徴としては、実際に働いたり活躍している人の話や身近な内容を取り上げていたり、6年生ですと公民的分野から歴史的分野の学習に移行する際に、選挙をテーマに接続が図られているなどの工夫が見られます。しかし、一方で、写真やグラフなどの資料の配置の仕方、読みづらいフォントの箇所がある、紙質がザラザラしているなどの課題があります。

日本文教出版の特徴としては、大阪や近畿地方を教材に取り上げていたり、各章の終わりに自主的に学習できるページが設定されている、などの工夫があげられます。また、公民から歴史への移行の接続については、大阪の大仙古墳など身近なものを取り上げ、時間旅行をしながら過去にもどるなどの工夫も見られます。日本文教出版ではいじめ問題、中学校夜間学級、子どもの権利条約についても記述されています。

以上のことから、児童の主体的な学びが期待できる等の点から総合的に判断し、日本文教出版の方が教科書全体のバランスがよく取られていると判断し、推薦いたします。

奥教育長

他にございませんか。

山下委員

竹島、尖閣諸島、北方領土など、領土問題については、各出版社ではどのように取り扱っていますか。

明渡委員

続けて明渡よりご説明いたします。

日本文教出版では、「領土をめぐる問題」の中で、日本の立場を記載し、竹島・尖閣諸島・択捉島（北方領土）を「日本固有の領土」とし、写真を載せています。

教育出版では、「日本の国土はどこまで？」の中で、日本の立場を記載し、竹島・尖閣諸島・北方領土を「日本の領土」とし、写真を載せています。

東京書籍では、「領土をめぐる問題」の中で、日本の立場を記載し、竹島、尖閣諸島、歯舞群島を「日本固有の領土」とし、写真を載せています。

どの出版社も、領土問題については、このように、ほぼ同様に記載されており、粘り強く交渉をしていかなければならないと記述されています。

山下委員

もう1点よろしいですか。

戦時中の、朝鮮や中国と日本との関わりを、どのように正確に伝えられているのか心配しています。各出版社ではどのように取り扱っていますか。

明渡委員

引き続き明渡よりご説明申し上げます。

日本文教出版では、「朝鮮や中国の人々と戦争」の中で、「朝鮮では、朝鮮の人々の姓名を日本式に改めさせたり、神社をつくって参拝させたりする政策を推し進めてきました。さらに、朝鮮や台湾では、徴兵が行われ、日本の軍人として戦場に送られました。また、戦争が長引いて労働力が不足したため、日本の工場や鉱山などで、多くの朝鮮や中国の人々が働かされました。」と記述されています。また、「抵抗運動が起こりました。」や「独立運動が続けられました。」という記述もございます。

教育出版では、「日露戦争後の日本と世界」の中で、「朝鮮では、朝鮮の人々を日本の国民とする政策が進められました。学校では教育勅語にもとづく教育が行われ、日本語が国語として教えられました。その一方で、朝鮮では、国民の権利は制限されました。朝鮮の独立を目ざす人々は、日本の支配に反対する運動をねばり強く続けていきました。」と記載されています。

東京書籍では、「世界へ進出する日本」の中で、「植民地とされた朝鮮の学校では、日本語の教育が始められた一方、朝鮮の歴史は教えられず、人々のほこりが深く傷つけられました。また、土地

の制度が変えられて、土地と失った人々が、日本人地主の小作人になったり、仕事を求めて日本などへ移住したりしました。こうした状況に対し、朝鮮の人々はねばり強く独立運動を続けました。」と記載されています。

奥教育長

私の方からも1点、分冊という点で影響はありましたか。

明渡委員

第3位の東京書籍だけが歴史と公民の2冊に分かれておりまして、歴史と公民をつなぐ工夫があまり見られませんでした。しかし先ほども申し上げました通り、合冊にしています日本文教出版であれば大仙古墳の時間旅行、教育出版であれば選挙をテーマにしたところをつなぐということで、公民と歴史を上手くつなごうという点が合冊では見られました。

奥教育長

ありがとうございます。

「社会」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「社会」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(社会)」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたしました。

次に、「地図」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

山下委員

今まではずっと帝国書院だと思います。東京書籍も工夫があり大体内容は似ているように思いますが、帝国書院を優先する理由を教えてください。

杉村委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の杉村よりご説明いたします。

新学習指導要領の社会科の目標「グローバル化する国際社会を主体的に生きる…」を受けて、令和2年度より地図帳は従来よりも1年早い小学校第3学年から配布されることとなりました。

帝国書院は、地図の成り立ちや距離の求め方も含めて、十数ページにわたり「地図のやくそく・地図帳の使い方」が丁寧にわかりやすく解説されていて、最初の段階でつまづかないような工夫が見られます。また、児童にとって親しみやすい絵記号やイラストを用いたり、授業でも活用できるグラフや資料を多く配置するなど、3年からの段階から活用することにより、児童が興味を持ちながら学習に取り組むことができ、さらに資料活用能力の向上につながると考え、帝国書院を推薦しました。

奥教育長

他にございませんか。

山下委員

今日の審議会ではあまり関係ないのですが、東京書籍も帝国書院もどちらも泉佐野市が見開きの真ん中で見にくいです。縮尺のズレか何かあるのかなど。もし分れば教えてください。

奥教育長

審議委員の方で何かございませんか。

森会長

結果そうになっているということで、わかりましたらまた報告します。

奥教育長

ありがとうございました。

「地図」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「地図」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「帝国書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(地図)」は、「帝国書院」を採択することに決定いたしました。

次に、「算数」に移ります。質問等はございませんか。挙手の上、お願いします。

南委員

学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着のため、発達や学年の段階に応じた反復による指導の充実が重視されていますが、審議会が優先する教科書はいかがでしょうか。

森会長

それでは、ただ今の質問に対して、審議会会長の森よりご説明いたします。

新学習指導要領では、算数科の学習内容は、発達や学年の段階に応じた反復による教育課程を重視しています。今回の改訂により、その具体が次の2点に明示されました。

1点目は、学年間の指導内容を円滑に接続させるため、同じ系統の内容について取扱いを少しずつ高め発展させる、というものです。

例えば、東京書籍では、2年生「100より大きい数を調べよう」の単元の学習の内容を1年生「10よりおおきかず」の学習の終わり頃に扱っており、各学年で扱う内容に加え、次学年で学習する内容にかかわる簡単な場合について扱うことで、知識及び技能の理解を確実にしていくとともに、次の学年での追究の際に有効に働くことが期待できます。

2点目は、学年において適切な反復による学習指導、いわゆる「学び直しの機会」を設定することです。

例えば、東京書籍では、複数の式を1つの式に表して計算する際に、計算の順序についての約束を再度確認し、実態に応じて計算練習の機会を位置付けています。また、日本文教出版は、新しい単元に入る際に前の学年や前の単元までに学習してきた内容を振り返ることができるように配置されており、学校図書では、4年生以降に1つ分の数を求める際の「4マス計算表」が取り入れられており、6年まで一貫して配置されています。

既習の内容をもとに、新たな原理・法則や方法を生み出していくためには、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が欠かせません。そのため、各者は適宜練習の機会を設けるなど、反復による学習指導が行われるよう工夫が見られます。

南委員

ありがとうございました。

もう1点、令和2年度からプログラミング教育が必修化されることとなりますが、各者、どの程度取り扱われていますか。

森会長

引き続き森よりご説明申し上げます。

新学習指導要領では、令和2年度より「プログラミング教育」が小学校で必修化されます。

主に、算数や理科、総合的な学習などで、プログラミングを行う場面が考えられます。学年別で見ると、1・2年は条件を適切に組み合わせて問題を解決する内容、3・4年は適切な条件を自分で

つくる内容となっています。教科書の中での具体的な配置としては、大方は5・6年生の算数や理科で登場します。

例えば、東京書籍の5年生では「プログラミングを体験しよう！」のコーナーにおいて正多角形を書く手順を考える内容があります。また、日本文教出版では「プログラミングを体験しよう」のコーナー、学校図書は「プログラミンのミ」というコーナーにおいて、それぞれ正多角形を書くための内容が、5年生に配置されています。

これは、「正多角形の作図を行う学習」として位置づけられているもので、「正確な繰り返し作業を行う必要があり、更に一部を変えることでいろいろな正多角形を同様に考えることができる」ことを学ぶためです。

このように、各者においてプログラミング教育における「情報活用能力」の育成をめざした内容が配置されています。

奥教育長

ありがとうございました。

「算数」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「算数」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（算数）」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

次に、「理科」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

中村委員

最近、子どもたちの理科嫌いや理科離れが課題となっています。

例えば、東京書籍では、3年生のハウセンカや6年生の体が動く仕組み等のページではタテ遣いをするなど、子どもの興味をひく工夫があります。審議会として、推薦している教科書について、どのような見解をもっているか教えてください。また、啓林館を1位に推している理由も聞かせてください。

山岡委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の山岡よりご説明いたします。

新学習指導要領では、「観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。」「観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。」「自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。」ことが重要とされています。

東京書籍については、導入などに、興味を引く漫画や写真が多く使われており、レッツスタートで単元の導入時期に興味を引くように作られていて、児童の興味関心を引きつける工夫が見られます一方で、単元導入時に取り上げる現象が身近なものではない点に課題があります。また、サイズが大きいため文字量も多くなっている点や、縦開きと横開きがある点で一つ指導が多くなるという点、パラパラ漫画風の写真の掲載により視覚情報が多点多点なども課題としてあげられます。

大日本図書は、児童がこれまでに学んだ学習を振り返ることができ、確認して学習を進めることができる工夫が見られます。実験や観察が大きく示されていたり、結果もわかりやすく提示されています。一方で、実験の準備物が示されていない点や、文字による情報量が少なく視覚情報が比較的少ない分、教師の説明が必要という点が課題としてあげられます。

啓林館は、問題解決に必要な力を養うために、その過程や進め方を、巻頭の「自然の不思議をとき明かそう」で示していたり、「やってみたい」と思わせる身近な現象を単元の導入に取り上げており、児童の興味を引く内容となっています。また、自学自習を意識した構成が多く見られ、特にノート記入例が単元ごとに掲載されおり、自学の一助となると考えます。

以上、述べさせていただいた点からも、啓林館は、課題の把握、課題の探究、課題の解決を進めるうえで、問題解決の力を培っていくために最も適している教科書だと判断し、推薦をさせていただきます。

奥教育長

ありがとうございました。

「理科」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「理科」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「啓林館」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（理科）」は、「啓林館」を採択することに決定いたしました。

次に、「生活」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

中村委員

今回、優先されている東京書籍は、サイズが大きく、写真も多くあり、子どもたちも学習しやすいと感じました。優先する理由に、そういったポイントも含まれているのでしょうか。

飯田委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の飯田よりご説明いたします。

東京書籍は、はじめに登下校の注意が掲載され、入学したばかりの1年生に配慮している内容となっています。また、「やくそく」や「かつどう べんりちょう」など、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料が設けられています。

さらに、学習に即して「ずかん」「活動べんりちょう」「ぼけっとずかん」など、児童の自主的な学習につながる内容や、対話を通じた活動など、学びを深めるための工夫があり、1年から2年へと発達段階を考慮した活動内容が見られます。

大きさは大判であり、文字や写真、挿し絵がゆったりと配置されており、実物大の植物図鑑もあり、学習への興味関心を持ちやすい内容となっています。東京書籍のサイズは大きいですが、重さは他者と変わらないように作られているのも特徴です。

以上、さまざまな配慮からも、児童が主体的に学習に参加していくために適している教科書だと考え、東京書籍を推薦いたします。

中村委員

ありがとうございます。

もう1点ですが、学習指導要領では、具体的な活用や体験を通して、とありますが、審議会が優先する教科書においてはいかがですか。

飯田委員

引き続き飯田よりご説明申し上げます。

生活科では、児童が見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの身体を通して直接働きかける体験の楽しさを味わうことや、活動や体験したことを表現し、考えることができるようにすることを重視しています。児童は、何度も対象と関わりながら表現し考えることを繰り返し、気づきを自覚し確かなものにしていきます。

東京書籍は、身近な人々、社会や自然を自分との関わりで捉えられるように、写真や挿し絵で子どもが具体的に関わる姿が多く示されています。また、町たんけんの活動が2回に分けられていることで、子どもの発達段階に応じた取り組みになるように配慮されています。さらに、安全や防災に関する配慮も十分に見られます。

学校図書の「作ってあそぼう」の单元では、輪ゴムや風の力で動くおもちゃの内容が充実し、3年の学習への動機付けにつながっています。

啓林館は、季節に沿って单元が構成され、学習を進めるにつれて、活動が広がり、深まっていくよう配列されています。

また、各者とも「観察カード」「発見カード」などを配置しており、体験や経験を通しての気づきや振り返りができ、それを基に考えることができるように、次の学習活動が展開できるよう配慮が見られます。

奥教育長

ありがとうございました。

「生活」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「生活」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（生活）」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

次に、「音楽」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

畑谷委員

現在使用している教科書は教育出版社のものですが、今回、教育芸術社を優先する理由について説明をしてください。

山岡委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の山岡よりご説明いたします。

教育出版と教育芸術社とを比較した場合、教育芸術社の方が学習指導要領に示された各学年の目標及び内容を踏まえた構成になっていて、学年を通して系統的・発展的に技能を習得できるよう教材がバランスよく取り上げられています。また、例示に合わせて書き込める枠があり、全ての児童が取り組める内容となっています。

さらに、見開き1面に、題材名・学習のねらい・縦書きの歌詞・歌詞の意味・楽譜・写真等が全て掲載されており、ページを行ったり来たりする必要がなく、児童の興味・関心を引くような仕掛けが多く使われており、「主体的・対話的で深い学び」につながる内容となっていると考えます。

奥教育長

ありがとうございました。

「音楽」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「音楽」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「教育芸術社」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（音楽）」は、「教育芸術社」を採択することに決定いたしました。

次に、「図画工作」に移ります。質問等がございますか。挙手の上、お願いします。

無いようですので、採決に入ります。

種目「図画工作」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「日本文教出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（図画工作）」は、「日本文教出版」を採択することに決定いたしました。

次に、「家庭」に移ります。質問等がございますか。挙手の上、お願いします。

中村委員

家庭の教科書は文字が小さく、情報量が多いように思います。

支援が必要な子どもへの配慮について、審議会が推薦する開隆堂はいかがでしょうか。

飯田委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の飯田よりご説明いたします。

新学習指導要領でも、教科指導における個別の支援の具体例を示しているように、子どもの認知特性の違いや支援教育の観点などから、だれもが理解しやすいような配慮や工夫が必要です。

開隆堂の教科書については、次の5点が特徴としてあげられます。

1点めは、単語や文節が行をまたがないように改行位置を工夫して、文章や語彙の意味が、一目で理解できるようにしています。特に、子どもが音読する際に混乱しないように配慮されています。

次に、色覚に困難な児童にも識別しやすいように、できるだけ背景に色を重ねないようにするなど、色の使い方について配慮しているのが2点めです。

続いて3点めは、図表の認識性を高めるために、カラーユニバーサルデザインの基準に基づいた配色の配慮をしています。特に、暖色と寒色の対比に留意し、グラフや図表の違いに気づきやすく配慮しています。

さらに家庭科は実技を伴う教科です。教科書を読んだだけでは、実際にどのような活動や動作を行えばよいのかが分かりにくいことがあります。その際、教科書に掲載されたQRコードを読み取ると、すぐに動画を見ることができるようになっています。「玉結び」や「玉止め」などは、動画で見ることにより、作業の見通しをもつことができるように配慮されているのが4点めです。

5点めは、紙面のつくりかたとして、視覚的な認識の観点から、上下より左右の目の動きの方が移動の認識の優位性に基づき、調理や裁縫などの作業の手順をできるだけ横一列、見開きページで展開している点があげられます。

以上の理由から、児童が理解しやすいような配慮や工夫が開隆堂にはあると考え、推薦させていただきます。

奥教育長

ありがとうございます。

私の方から1点、男女共同参画社会の実現を推進する人材を育成していくための学習において、教科書には役割があると思いますが、その点で違いがあれば教えてください。無ければないで結構です。

飯田委員

飯田よりご説明させていただきます。

どの教科書につきましてもその部分につきましては、同じような取扱いをされていると考えております。

奥教育長

ありがとうございます。

「家庭」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「家庭」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「開隆堂」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(家庭)」は、「開隆堂」を採択することに決定いたしました。

次に、「保健」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

奥教育長

それでは私から1点、現在使用しているのは東京書籍の教科書ですが、今回は光文書院を優先されています。児童が主体的に学習できる点として、この2者の違いについて説明をしてください。

森会長

それでは、ただ今の質問に対して、審議会会長の森よりご説明いたします。

どちらの出版社の教科書も、それぞれ児童が興味を持って主体的に学習に取り組めるよう、よく考えられています。

東京書籍は、どの單元においても、学習の進め方として、ステップ1「気づく・見つける」、ステップ2「調べる・解決する」、ステップ3「深める・伝える」、ステップ4「まとめる・生かす」という流れが一貫していて、学習過程がわかりやすいです。また、たくさんのイラストや写真、資料を用いながら、児童の思考に沿って、主体的に学習を進めることができるような構成の工夫があります。しかし、情報量や書き込む量が多い点や、性の多様性についての配慮が足りない箇所などがあり、課題であると考えます。

一方、光文書院は、各單元のはじめに「学習課題」の提示があり、課題解決のための「調べよう」「考えよう」「話し合おう」の配列が学習を効果的に進められるよう構成されています。また、学習のはじめに、どうして学ぶのか、何を学ぶのか、どうやって学ぶのかが明示されており、児童が見通しをもって、主体的に学習ができる工夫が見られます。さらに、個人差や性に関する記載が丁寧で、人権への配慮も見られる点からも、光文書院を推薦させていただきます。

奥教育長

よくわかりました。ありがとうございます。

「保健」について、他にありませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「保健」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「光文書院」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書(保健)」は、「光文書院」を採択することに決定いたしました。

次に、「英語」に移ります。質問等はありませんか。挙手の上、お願いします。

南委員

来年度から英語が5、6年生で教科となります。どの教職員も魅力的な授業を展開していく点において、各教科書の特徴を教えてください。

松良委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の松良よりご説明いたします。

新学習指導要領の目標「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成すること」をめざして、各教科書にはさまざまな工夫特徴が見られます。

まず、教育出版は、最初のページに既習学習のことがイラストで簡単に載っている、ワークやゲームが豊富にあって、別教科で既習の物語が出てくるなど、児童の意欲を引き出す内容となっています。また、移行期間中に活用している文部科学省作成の「We Can!」と文字の大きさやレイアウトが類似しており、児童にもなじみがあるように工夫されています。

次に、三省堂は、HOP、STEP、JUMPの大単元、STEPやJUMPの小単元のプロセスが繰り返される配置や、チャンツの内容が詳しく書かれており、見通しをもって取り組むことができる内容となっています。また、「Wow!」「Really?」など積極的にコミュニケーションを図るという目的に合わせ、相づちを打つ大切さを取り扱っているのも特徴です。

東京書籍は、音声から文字への学習の流れや、Activityでのグループ活動の内容などが詳しく書かれていて、取り組みやすい内容になっています。また、別冊のPicture Dictionaryは、教科書の下に関連ページが書かれていて調べやすく、書く活動やActivityで活用できるような工夫が見られます。

奥教育長

他にありませんか。

畑谷委員

3、4年生の外国語活動は「話す」「聞く」のコミュニケーションを中心に行いますが、5、6年生の英語は「読む」「書く」の活動も加わってきます。東京書籍は別冊があるので「書く」ことの学習の時に、お手本として使う場合には見やすくいいのではと思いましたが、いかがでしょうか。

松良委員

引き続き松良より説明いたします。

「読むこと」「書くこと」については、小学校高学年の英語において慣れ親しませることから学習していきます。中学校に進むにあたって、英語が苦手にならないように、楽しく学習ができることが大切だと考えます。

具体的には、文字の読み方を活字体の文字と結び付けて名称を発音したり、アルファベットの大文字と小文字を四線上に書いたり、十分に音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について語順を意識しながら書き写したり、例文を参考に書く活動などがあげられます。それは、どの教科書にも見られます。

「書くこと」については、教育出版社は、巻末のアルファベットカードにも四線が掲載されているなど、書くことを意識しての工夫が見られます。また、巻末にワークシートの綴じ込みがあり、切り離して、書き込みができるようになっています。

分冊については、東京書籍のみ用意されていますが、その他の各出版社の教科書内容については、小学校段階においては、量的にも質的にも適切かと考えます。

奥教育長

ありがとうございました。

「英語」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「英語」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました、「教育出版」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（英語）」は、「教育出版」を採択することに決定いたしました。

最後に、「道徳」に移ります。質問等はございませんか。挙手の上、お願いします。

北浦委員

学習指導要領では「問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導方法を工夫すること」としています。道徳における問題解決的な学習について、各教科書においてそれぞれどのような特徴があるか、あれば教えてください。

中村絵里委員

それでは、ただ今の質問に対して、審議会委員の中村よりご説明いたします。

道徳における問題解決的な学習では、教材から道徳的な問題を見付け、その問題を道徳的価値との関係でどのように解決していくかということ、友だちなど他者の意見を聞いたりしながら多面的・多角的に考え、自分との関わりの中で考えたりしながら、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが重要です。

東京書籍は、一つではなく様々な答えが出る教材が配置されています。また、光村図書は、深く考えることができる教材が見られ、学研教育みらいは、主題がはじめに書かれていないため、児童が自ら課題を探ることができる内容となっています。

いずれの出版社も、問題場面をより自分のこととして捉えることができ、問題解決的な学習の展開にもつながる内容であると考えます。

奥教育長

他にございませんか。

山下委員

内容としてはどの教科書も工夫されていると思いますが、「道徳ノート」や「まなび」のように、後ろに別冊で振り返りノートがあれば、学習を振り返る上で便利だと思います。実際にはどうでしょうか。

中村絵里委員

引き続き中村より説明いたします。

2冊で1学年分になっており、児童が書き込むことができる分冊のあるものが、学校図書、日本文教出版、廣あかつきの3者です。分冊は、児童の学びを重ね、心の成長を記録する上ではとても効果的であると考えます。1冊に綴られているので、いつでも見ることができるものよい点です。

また、出版社によっては、ノート上段は教科書本文の中心的な発問の記入欄を、下段は自由記述欄を設けて書く活動をパターン化していたり、1年生の1学期に配当された教材は、文字を記入することなく○をつけたり、色を塗ったりしながら学習を進めることもできるなどの工夫が見られます。

しかし、一方で、中心的な発問が記載されていることにより、学習活動が固定化されてしまい、児童の実情に応じて授業展開を工夫する、変えていくという点が困難になることが懸念されます。

審議会としましては、「議論する道徳」をめざす上で、価値ある教材と、教師の授業力に期待して、分冊のない教科書の方を推薦させていただきます。

奥教育長

ありがとうございます。

「道徳」について、他にございませんか。

無いようですので、採決に入ります。

種目「道徳」につきまして、審議会の答申において、推薦順位1位でありました「東京書籍」を採択することに賛成の方は、挙手願います。

(委員全員 挙手)

奥教育長

挙手全員です。

よって、「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書（道徳）」は、「東京書籍」を採択することに決定いたしました。

以上で全種目が決定いたしました。確認いたします。

「令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書」として、

- ・国語は、「光村図書出版株式会社」
- ・書写は、「東京書籍株式会社」
- ・社会は、「日本文教出版株式会社」
- ・地図は、「株式会社帝国書院」
- ・算数は、「東京書籍株式会社」
- ・理科は、「株式会社新興出版社啓林館」
- ・生活は、「東京書籍株式会社」
- ・音楽は、「株式会社教育芸術社」
- ・図画工作は、「日本文教出版株式会社」
- ・家庭は、「開隆堂出版株式会社」
- ・保健は、「株式会社光文書院」
- ・英語は、「教育出版株式会社」
- ・道徳は、「東京書籍株式会社」

以上のように決定いたしました。

森会長をはじめ、審議会委員の皆様には、長らくのご審議、本当にありがとうございました。本日も出席されていない方々にもよろしくお伝えください。

それでは、続いて、「令和2年度使用泉佐野市立学校教科用図書」について、事務局から説明をお願いします。

#### 和田学校教育課学校指導担当参事

令和2年度使用泉佐野市立小学校教科用図書の採択どうもありがとうございました。

令和2年度使用泉佐野市立学校教科用図書につきまして、5月の教育委員会議でご説明させていただいたことの確認になります。

小学校につきましては、先ほど採択いただいた教科書を使用いたします。

中学校につきまして、道徳は昨年度採択いたしました教科書を今年度に引き続き使用いたします。

また、道徳以外の教科につきましては、新たに採択することとなっておりますが、5月の教育委員会議でご了解いただきましたように、現在の教科書を引き続き採択し、使用することとなります。

説明は、以上でございます。「令和2年度使用泉佐野市立学校教科用図書の採択」について、ご承認くださいますよう、どうぞ、よろしくお願いいたします。

#### 奥教育長

ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

無いようでございますので、「令和2年度使用泉佐野市立学校教科用図書の採択」については、原案のとおり承認することとしてよろしいですか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご意義がございませんので、原案どおり承認することに決定いたします。

それでは、これをもって本日の会議は終了いたします。

(午後3時30分閉会)